2019年度 事業報告

活動の概要：定例研究会は５回開催した。内、見学会は１回開催した。他に見学会を実施した。公益財団法人大幸財団、真照会、公益財団法人愛銀教育文化財団から助成された。シンポジウム、パネル展、ウェブサイトなどで研究会の活動を知った方から３名（団体）の加入申し込みがあった。研究会会員の高齢化が進んでいる。

１．総会

◆第27回総会　2019/05/18　（名城大学　校友館第１会議室）　出席者：32名

第１号議案　2018 年度 事業報告　（山田貢）

第２号議案　2018 年度 決算報告　（朝井佐智子）

研究会会計　特別会計（田中基金）・シンポジウム会計・書籍会計

第３号議案　2018年度　監査報告　（山田富久）

研究会会計　特別会計（田中基金）・シンポジウム会計・書籍会計

第４号議案　2019年度　事業計画（案）　（山田貢）

第５号議案　2019年度　予算（案）　（朝井佐智子）

第６号議案　2018～2019年度役員・分掌組織、役員及び分掌幹事(案)　（山田貢）

第７号議案　その他　なし

２．定例研究会

◆第158回定例研究会　2019/05/18　（名城大学　校友館第１会議室）　出席者：32名

研究報告、調査報告

［158-11-01］　国内外「産業遺産ルート」の提案 ― 広域連携をさらに深めるために　大島一朗

［田中浩太郎名誉顧問を偲ぶ会］

例年の講演会に代えて今年は田中浩太郎名誉顧問を偲ぶ会を行った　司会進行：石田正治

◆第159回定例研究会　2019/07/21　（トヨタ産業技術記念館　ホールＡ）出席者：22名

研究報告、調査報告

［159-11-01］「服部長七と東三河の人造石遺産」　天野武弘

◆第160回定例研究会・見学会　/2019/09/29　（豊川駅周辺の産業遺産）　出席者：17名

見学地　豊川稲荷門前通り→旧伊那街道→旧豊川電話中継所→旧豊川線→豊川市桜ヶ丘ミュージアム→豊川稲荷→豊川駅で解散　案内：天野武弘

◆第161回定例研究会　2019/11/17（豊田市近代の産業とくらし発見館）出席者：14名（会員）

シンポジウムのプレイベント

第一展示室見学　解説者：豊田市近代の産業とくらし発見館学芸員

実習室にて人造石づくりが体験　講師：大橋公雄

今回はオープン参加のため会員以外に、名古屋工業大学から3名、豊田市民2名が参加した

◆第162回定例研究会　2020/01/18（名古屋都市センターまちづくり広場ホール）出席者：30名

研究報告、調査報告
［162-11-01］　「ラオス南部で操業中のホフマン式輪環窯」　天野武弘

◆第163回定例研究会　2020/03/15
新型コロナウィルス感染予防のため開催中止

３．シンポジウム、その他の催物

◆依佐美送信所記念館見学会　2019/05/19
田中浩太郎名誉顧問を偲ぶ会関連行事として実施した

◆第８回さんぎ大学講話会（共催）　2019/07/21　（トヨタ産業技術記念館　ホールＡ）
講演①「モノづくりの大切さを伝える～ミッション達成に向けて～」
講師：広野透(トヨタ産業技術記念館)
講演②「展示から知るクルマの開発～シャシーダイナモメータとは？～」
講師：八田健一郎(中部産業遺産研究会)

◆テレビ塔工事現場見学会　2019/11/15　参加者：14名
名古屋テレビ塔地下の免震工事現場および各階の工事現場を見学

◆第15回(2019年度)パネル展と講演会　テーマ：「ものづくり中部の革新者たち」
・パネル展　開催期間：2020年1月15日から2020年1月26日まで（12日間）
会　場：名古屋都市センターまちづくり広場・企画展示コーナー　来場者：1,963名
･講演会　開催日：2020年1月18日（土）
会　場：名古屋都市センターまちづくり広場・大研修室　参加者：92名
基調講演　「名古屋地域における近代産業の発達」笠井雅直（名古屋学院大学現代社会学部教授）
講演　「日本の電力王・福沢桃介物語」　寺沢安正（中部産業遺産研究会会員）
講演　「愛知の産業教育に尽くした人々」　石田正治（中部産業遺産研究会会員）

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回
テーマ：「服部長七と人造石工法　産業近代化の基礎づくりを担った土木技術」
開催日：2020/03/07（土）13:00～15:00
新型コロナウィルス感染予防のため開催延期

◆「ものづくり文化再発見！ウォーキング」大会（協力）
第22回：西区コース　実施日：2019/05/25（土）参加者：505名
押切公園⇒旧志水家車寄と風信亭⇒日野屋和楽器店⇒凧茂本店⇒末廣堂⇒山勝染工
⇒サンゲツ名古屋ショールーム⇒四間道⇒円頓寺商店街⇒ノリタケの森
第 23 回：津島コース、実施日：　2019/10/06（土)、参加者：　258 名
藤浪駅⇒今市場十王堂⇒小中切山車蔵⇒三養荘⇒天王川公園⇒堀田新五郎商店（太鼓）
⇒堀田家住宅⇒津島神社・秋祭⇒あかだくつわの店⇒JA 愛知
秋の津島コースは、初めての試みとして、単独開催ではなく名鉄のハイキングとの共催で実施。狙い

は、単独開催の負担（人員と経費）の軽減。全体の参加者は2139名で、その内258名が「ものづくり文化再発見！ウォーキング」参加者。コース内容について、モノづくりの要素が少ない。

４．刊行物

◆研究会誌『産業遺産研究』第26号　2019/07/21発行

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回講演報告資料集　2020/03/07発行
　シンポジウムの開催延期に伴い未配付

◆会報（印刷物及び電子版にて発行）
　第74号2019/04/20発行、第75号2019/07/15発行、第76号2019/10/20発行、第77号2020/01/15発行

５．その他

◆幹事会・役員会･その他の会議

第１回役員会　2019/10/27　　名古屋市公会堂　第３集会室

1. 研究会報告、予算報告、シンポジウム、パネル展、その他事業報告など
2. 2020～2021年度役員と分掌組織について
3. 書籍出版検討委員会について
4. 書籍（会発行の印刷物）の電子化について

第２回役員会　2020/02/09　　名古屋市緑生涯学習センター　第２集会室

1. 総会・研究会の日程と準備、その他諸事業の報告など
2. ＷＥＢサイトの運営を広報から独立されることについて
3. 産業遺産研究の編集状況と執筆要綱の改定について
4. 書籍の電子化、書籍出版検討委員会について

幹事会　適宜メールにて協議や相談をおこなった。

◆その他の委員会・打ち合わせ等

2018年度の会計監査 2019/04/05 名古屋市市政資料館　第１集会室
2019年度の会計監査 2020/04/05 新型コロナウィルス感染予防のため書面にて実施

◆シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回 実行委員会

2019/05/18、07/21、09/29、11/17、2020/01/18　５回実施　他メールを随時

◆第15回パネル展「ものづくり中部の革新者たち」　勉強会

2019/02/01、03/30、04/23、06/11、10/8、12/05、６回実施　他メールを随時

◆『産業遺産研究』編集委員会　主にメール会議にて適宜実施

◆「中部産業遺産研究会　ニュースレター　電子メール版」

月に2回更新　年25回ほど発行

◆「中部産業遺産研究会　ウエブサイト」　随時更新

◆図書館への寄贈・献本　国立国会図書館、愛知県図書館、鶴舞中央図書館等14か所

◆会員異動数及び会員数　2019年度の入会者３名、退会者６名、
2020年3月31日の会員数は個人116名、法人３団体、計119

2020年度　事業計画

１．総会

第28回（2020年度）総会　新型コロナウィルス感染予防のため書面にて実施

２．事業計画

①諸活動を通じて産業遺産及び関連分野の調査研究を行う。②産業遺産研究の普及、発展に努める。③産業遺産の保存と普及発展に努める。

（１）産業遺産の調査研究

・地域の産業遺産の発掘調査に努める。

・ものづくり再発見の英語版ガイドブックをウエブサイトで広く宣伝し活用に努める。

・刊行物の研究会誌、シンポジウムの冊子を電子化して会員及び広く一般の人にも利用に供する。

（２）定例研究会

・原則として奇数月の日曜日の午後に研究報告や講座など開催する。

・見学会は原則として９月と３月に開催するが、今年度は変更することもある。

・内容は産業遺産に関わる研究発表・調査報告（産業遺産の見方・調べ方）、産業遺産の保存問題、研究会誌・会報・ニュースレターの原稿と編集、シンポジウム・見学会・その他の催物の企画、案内、文献・資料の紹介、委員会・役員会の報告、幹事会・事務局関係、近況報告等

・産業遺産調査カードを利用するなどして、気軽に発表が誰でも出来るように努める

（３）シンポジウム、見学会、その他の催物

・第16回2020年度パネル展、講演会を企画し、名古屋都市センターと共催する。

・延期となった、シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第38回を開催する。
会場：大浜公民館二階ホール（碧南市）
（開催時期未定）

・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回の企画、開催する。

・「さんぎ大学」をトヨタ産業技術記念館と共催する。
（2020年度は、新型コロナウィルス感染の影響で開催を中止）

・2020年度「ものづくり文化再発見！ウォーキング」に協力する
（2020年5月31（日）一宮編は、新型コロナウイルス感染予防のため延期決定。時期未定）

・その他、必要に応じて会員外も参加できる見学会等を計画し、開催する。

（４）刊行物

・研究会誌『産業遺産研究』第28号を発行する。

・シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第39回の開催と講演報告資料集を発行する。

・「会報」は、年４回発行し、定例研究会、見学会などの案内と報告を掲載する。

・「ニュースレター電子メール版」を随時発行する。

（５）役員会・幹事会・委員会

・役員会・幹事会は適宜開催する。検討事項が発生した時には、電子メール会議等によって行う。

・研究会誌編集委員会、パネル展の勉強会、シンポジウム実行委員会、書籍出版検討委員会など各委員会を適宜開く。

・会員名簿を作成して、会員に配布する。

（６）諸活動

・研究会のウェブサイトの運営と管理をする。

・ウェブサイトやブログからの情報発信や広報活動を進める。

・当会発行の刊行物の電子化を進める。

（7）その他

・研究会の新会員の募集を積極的行う。法人の賛助会員に努める。

・各種団体の出版助成金申請やシンポ・パネル展等への助成金申請に取り組む。